

人権尊重のまちづくりを指して、市と南あわじ市人権教育研究協議会（南人教）で



▲受賞作品を披露する園生志成さん

は12月5日、人権フェスティバルを三原公民館で開催しました。同フェスティバルでは、今年募集していた人権作文の優秀作品121点を表彰。入賞作品の中から、代表者ら7人が作文を読み上げました。南人教の仲野壽志会長は読み上げられたそれぞれの作品を講評しました。

表彰式後には、今村克彦先生と関西京都今村組によるダンスが披露され、会場は熱気に包まれました。

## 人権フェスティバル2010

### 人権作文優秀作品を表彰

鹿兒島県指宿市で12月4日、アジア国際子ども映画祭が開催されました。「子どもの心の中に内視鏡を入れよう」というテーマで



▲来年も出場すると意気込む出場者たち

始まった同映画祭は第4回目。今年から日本や中国、韓国、ベトナムなど11か国とその周辺地域の子どものたちが集まり、入賞作品の上映及び表彰式が行われました。

8月に開催した南あわじ市大会で優秀賞を受賞した、大笹湊貴さんと達也さんの「妹の一日」は、奨励賞に選ばれました。

映画祭を通じて国境を越えた交流もできる全国大会が、いよいよ本年12月、南あわじ市で開催されます。

## アジア国際子ども映画祭

## 消防団へ協力

消防団員の約7割が、被用者という状況の中で、淡路地区消防協議会では、昨年度より勤務時間中の消防団活動に配慮している事業所を「消防団協力事業所」として認定しています。

洲本市文化体育館で12月8日伝達式が行われ、淡路島酪農農業協同組合や理研化学工業(株)淡路工場、(株)南兵庫クボタが認定されました。

今後、事業所の協力により地域防災体制の一層の充実が図られます。

## 北海道牛導入に補助金



▲北海道から到着した今年度第1弾の導入牛(11月26日、淡路島牧場)

市は今年度から、淡路島酪農協同組合が毎年実施している

る北海道牛導入に対して市内酪農家への補助金を交付する取組みを開始しました。購入農家への補助金は、1頭あたり3万円(年間30頭限定)。1農家2頭までを対象としています。

全国に誇る「淡路島牛乳」を支える市内での乳牛の飼養戸数と頭数は、21年度で188戸、5329頭ですが、年々減少傾向にあります。そのため優良な後継牛を育成し、良質の生乳を確保することを目的に北海道から牛を購入する農家を酪農振興の観点から支援するものです。

11月26日には、今年度第1弾となる北海道からの導入牛30頭が淡路島牧場に到着して披露され、購入農家へ搬送されました。

## ふるさと納税

ご寄附ありがとうございました。

### ふるさと南あわじ応援寄附金

寄附状況の公表 (12月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	341件	46,592,219円
市外(島内)	47件	5,871,000円
市外(島外)	213件	27,719,940円
合計	601件	80,183,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

## 南あわじ市議会

南あわじ市議会は、11月24日に開かれた市議会定例会において正副議長選挙を行い、阿部計一議員が議長に、森上祐治議員が副議長に当選し、就任しました。

## 広報読者の声



▲中川ひろみさん(中央)  
子どもの健診がいつだったかとか、忘れていない制度がないかとかという風に利用しています。地域のことがちゃんと載っている身近な広報かなと思います。いつもは目につくところに置いてありますよ。4月号のイングランドの丘の入場券、利用させていただきました。

▲門田照子さん  
知っている人が載るので毎月が楽しみです。11月号は出身地の福良の祭りや商店が載っていて、写真や文章をじっくり読みました。これからも老人の活気あふれる姿や子どもの笑顔あふれる写真などを載せてほしいです。地域密着型の貴重な情報紙ですね。



▲藤平美左子さん(上段左)、糸山祐子さん(上段中央)、前山直美さん(上段右)  
結婚や出産の記事にはまず目を通します。表紙の写真はいつも笑顔でほのぼのしていて、すごくいいですね。イベント案内や募集記事をよく見えています。お店の紹介なども広報でもらえたらなと思います。



▲赤穂芳宏さんと妻・恵美さん  
12月号の『障害者の就労を支える』の記事は抜群によかった。同じ地域に生活する障害者にスポットを当て、これから生きていく上で本人はもとより、その家族にも希望を与える企画だったと思いました。今後とも福祉の観点からの企画を望みます。また、広報には、市民一人ひとりの声なき声に光を当てる紙面であってほしいと思います。

### その他のご意見

- ・もう少しカラーのページを増やしてほしいです。そのほうが見やすくなると思います(10代・男性)
- ・イベントの結果報告記事が多く感じます。事前情報の掲載がもっとたくさんほしいです(40代・女性)
- ・イベント内容や申込方法の詳細は、もう少し細かく載せる必要があると思います(30代・女性)
- ・出来事だけでなく個人にもスポットを当ててほしい。最近の表紙の異業種の紹介は良いですね(50代・男性)
- ・心のかけはしの「出生」の欄で、赤ちゃんを産んだのは母親なので母親の名前を記載しては？(60代・女性)
- ・お知らせで福祉や税の制度が掲載される事がありますが、行政用語が多くもう少しわかりやすく書いていただければ、誰が見ても身近なものとして広報を捉えることができると思います(20代・女性)

### 広報紙について今後も皆さまの意見をお聞かせください

広報南あわじでは広報クイズ(今号では17頁)にご応募いただくことで、広報紙に対する意見や感想をお聞きしています。今後も皆さまの意見をできるだけ紙面に反映していきたいと考えています。また私たち編集者もお便りを編集の励みにさせていただいています。これからも紙面を皆さまの笑顔で埋め尽くしていきたいと考えています。広報南あわじを今後ともよろしくお願いいたします。



広報南あわじは毎月1日発行し、新聞折込で市内に配布しています。新聞を取っていない人には、配送サービスを行っています。①市内在住の人=無料②市外在住の人=有料。費用は年1,000円。  
※すでに無料送付を受けている人で、送付が不要になった人は情報課(☎43-5003)までご連絡をお願いします。